

東京芸術文化評議会 第2回江戸文化の魅力発信部会 議事概要

日 時	令和7年4月16日(水) 13:30~15:00
場 所	東京都庁第一本庁舎42階 特別会議室B
出席者	委員：青柳正規委員(部会長)、伊藤裕久委員、大石学委員、近藤誠一委員、陣内秀信委員 事務局：片岡容子文化振興部長、石岡由江調整担当部長、伊東亜希子企画調整課長、森田海渡文化政策担当課長、清水秀樹調整担当課長、齊藤圭祐連携担当課長、荒木夏奈渉外担当課長 計12名
欠席者	千田嘉博委員、西村幸夫委員
議 題	1. 江戸文化の魅力の整理について 2. 江戸文化の魅力発信について
配布資料	東京芸術評議会運営要綱 東京芸術文化評議会 江戸文化の魅力発信部会 委員名簿 その他非公表
要 旨	<p>□ 議題1「江戸文化の魅力の整理」について</p> <p>事務局：江戸の文化資源の魅力の整理について、資料に基づいて説明</p> <p>委員：江戸文化も多くの変遷をたどって現在に至っていることには注意が必要で、履歴を押さえることは重要</p> <p>委員：江戸の文化資源の周辺環境も大きく変わっており、その把握は価値の整理とともに、今後の保護の検討にも有効</p> <p>委員：世界遺産を考える場合、具体的な物証が求められるが、世界遺産の主たるテーマで扱えなかったとしても、その周辺には江戸を伝える大事な要素があるため、うまく取り込み、魅力を伝えていくことが重要</p> <p>意見交換の結果、江戸文化の魅力を分野ごとに一覧化して詳細に整理を進めることとなった。</p> <p>□ 議題2「江戸文化の魅力発信」について</p> <p>事務局：江戸ロゴマークを活用したプロモーションについて、資料に基づいて説明</p> <p>委員：都の「江戸」発信の旗印となる「Edo Tokyo」のロゴマークが作られたので、様々な媒体、機会を戦略的に選定し、より効果ある発信に繋げていくことを期待</p> <p>委員：民間や他自治体と連携したムーブメントを起こすために、その活動支援や都側で用意するスキームを明示し、参加を促進するような仕掛けがあると有効</p> <p>委員：この取組を機に、東京にとって江戸とは何なのかというのをグローバルな視点で考え、それにふさわしい説明の仕方、魅力をアピールしていくことが重要</p> <p>意見交換の結果、官民が連携して江戸の魅力発信をしていく仕組みを検討することとなった。</p> <p align="right">以上</p>